

法政大学沖縄文化研究所主催シンポジウム

# ブスクとしての首里城 — 東アジアの視点から —

公開日時：2020年11月27日(金)～2021年3月31日(水)  
YouTube動画配信によるオンライン公開シンポジウム

主 催：法政大学沖縄文化研究所

共 催：沖縄県立博物館・美術館

後 援：沖縄タイムス社

[法政大学沖縄文化研究所 YouTubeチャンネル]

以下のアドレスまたはQRコードからアクセスして下さい

<https://www.youtube.com/channel/UCcKhhqzK9DI1GtvQUds4NUg>



[お問い合わせ]

法政大学沖縄文化研究所 okiken@adm.hosei.ac.jp



# グスクとしての首里城－東アジアの視点から－

2020年11月27日（金）～

YouTube動画配信によるオンライン公開シンポジウム

## 第1部 個別報告 （各報告 約40分）

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| ①「朝鮮半島と日本の古代城郭」 | 向井一雄氏（古代山城研究会）       |
| ②「中国東北部の城郭史」    | 臼杵勲氏（札幌学院大学）         |
| ③「日本の中世居館と城」    | 小野正敏氏（国立歴史民俗博物館名誉教授） |
| ④「首里城の原点を探る」    | 山本正昭氏（沖縄県立博物館・美術館）   |

## 第2部 討論 （約60分）

報告者によるディスカッション

討論司会 石井龍太氏（城西大学）

総合司会 大里知子（法政大学沖縄文化研究所）

2019年12月21日に沖縄県立博物館・美術館主催のシンポジウム「形から見たグスクの原点を探る」が実施された。その続編として、新たな視点からシンポジウムを開催し、動画配信の形で公開する。

今回は、首里城の原点を探るために、グスクとしての首里城に焦点を当て、東アジアの視点から見た場合に浮かびあがるグスクの特徴やグスクの成立した背景などについて、琉球列島以外の地域との比較を通して探っていく。昨年10月31日に焼失してしまった首里城は「世界遺産」としてどのような歴史的意義があるのかを改めて問い直す。

動画は2021年3月31日（水）までの期間限定公開となります

法政大学沖縄文化研究所

okiken@adm.hosei.ac.jp

